

改善係設立の背景および現在（2012-2015）までの活動内容サマリー

By 川島善治

（背景/概略）

改善係（前改善委員会）は、センター運営上の問題を解決する為2012年、ボランティアの改善委員会として発足しました。当初は保護者、教員の方々を入れたボランティアの組織でした。それがその年の保護者会で、正式な係として承認されると言う形で設立されました。

なぜ改善係が必要か？一体何をする係なのか？

その説明するには、それまでの運営委員が直面していた問題を考えるのが早いと思います。

ここ10-15年、センターはその規模の拡大をたどっています。また、ほとんどの運営委員は毎年交代します。こんな中、運営委員はいろいろな問題を、根本的に解決したいのだが、運営実務に追われて、時間的に手が出せない現状が続いていました。この為、運営委員引継ぎでは、実務内容の引継ぎと共に、問題の引継ぎが行われていたと思われまます。

この時間的制約を解決する為に考えたのが、役割を分担することでした。

運営委員が運営実務を、改善係が問題解決を主に行う事で、時間的な制約からも解放され、また引継ぎも簡単になるのではと言う考えでした。そこで、センターに存在するいろいろな問題を一か所に集めて、これを改善係が処理するという方法を考案しました。

初年度に私がまとめた問題点は、次の情報を基にしています。

- 過去の運営委委員から引き継いだ問題
- 私自身が運営委員をやって感じた問題
- 過去の（5-6年）のセンター議事録から拾い上げた共通した問題

これを基に4つの改善目標を決めました。

1、センター情報の共有化

過去の運営情報の多くは、運営委員（センターパソコン）にしか存在せず、この為一般保護者は、センターの活動、運営内容の把握が難しい状態でした。この為、保護者会や朝の会でセンターの直面している問題を議論しても、保護者にその内容を理解させ為に時間を費やす状態でした。これを解決する為にセンターウェブ係りを設立し、センターウェブのフェイスリフトおよび、センターパソコンの埋もれていた情報（議事録、歴史、重要資料など）をアップロードしました。

2、センターの運営マニュアル（センターの決まり）作成

運営を、より簡素化する為に、運営上の最低限のルールを決定し、センター運営のマニュアルとする。過去に決定した事を、拾い上げ、未決定な項目を決定していく。そして、これらをウェブに記載する。

3、教育カリキュラムの見直し

体系的で、つながりのある教育カリキュラムを作成する。これは、レベル設定案などで説明した様に、幼児から高学年児童にいたり、少しずつレベルアップしながら最終目標に到達する様なカリキュラムで、保護者、先生方の双方に簡単に理解出来るものです。

4、問題解決の窓口になる

今後発生するであろう問題の解決窓口となる。

(活動内容)

年度	リーダー	活動内容
2012年 改善委員会	川島善治	<ul style="list-style-type: none">● 改善委員会立ち上げ● センターウェブサイト整備● 保護者全体アンケート準備● クラスレベル設定の説明● センター運営委マニュアル準備● 改善係設立
2013年 改善係	前田桂	<ul style="list-style-type: none">● 保護者全体アンケート実施● クラス別カリキュラムの設定● 運営委員年間スケジュールの作成
2014年 改善係	川島善治	<ul style="list-style-type: none">● 運営委員への全体アンケート● 運営委員選出方法（決まり）の確立● センターの決まり作成およびウェブ掲示
2015年 改善係	西畑亜希子	<ul style="list-style-type: none">● 成人クラスの沿革のウェブ掲載● .中高等部クラスのカリキュラム編成の検討● クラス別年間学習目標のウェブ掲載● 生徒名簿のウェブ記載方法の検討